



# 明日を拓く

## 学校報

令和元年10月16日

No.33

美郷町立美郷中学校

### ■前期と後期の節目に生徒に贈った言葉と期待

節目は誰にとっても感慨深いものです。振り返って次の目標を抱くことの繰り返しこそ、人を着実に成長させるものと考えます。

これまでにお知らせしたとおり、前期は文武両面でたくさんの成果があり、その集大成として「一心祭」の成功で締めくくることができました。



課題としては、特に人との関わり方に関することが多く、前期終業式では次の言葉を生徒に贈りました。

- ◇人間は、人なみでない部分をもつということは、すばらしいことなのである。そのことが、ものを考えるばねになる。  
(司馬遼太郎「洪庵のたいまつ」より)
- ◇みんなちがって、みんないい。  
(金子みすゞ「わたしと小鳥とすずと」より)

自分らしさとは何か。自分のよさや課題は何かを考え、「生まれながらのもので、努力しても変わらないものではない」と信じるのが大切だと話しました。

自分を知ることが、自分に厳しく他人には優しい自己への第一歩です。それは、他者との豊かな関わりにつながります。人間は一人では生きていけません。中学生時代に、他者と共生するための自分の在り方をしっかりと勉強してほしいと願っています。

後期始業式では、次のことを心にとめて一人一人の目標を設定してほしいと話しました。

- ◇「適切に自分を表現する」ことと、「失敗を恐れずチャレンジする」ことに意を注いでほしい。
- ◇読書に親しんでほしい。一日のスタートで心の栄養を養い、豊かな人生を歩む土台を築いてほしい。
- ◇自分を表現するためには言葉が必要。言葉や思考は、読書によって拡充される。
- ◇"Nothing is impossible, the word itself says 'I'm possible'!".  
(不可能はない、その言葉が「できる」と言っている」女優オードリー・ヘップバーンの名言)

### ■美郷中の誇り！学級新聞の文化の確かな継承

学級新聞を作り、読み比べ、楽しむという意義深い伝統が継承されています。広報委員会主催で年4回作成し、その2回目(一心祭)と4回目は投票によるコンクールとなっています。



後期始業式後に結果の発表がありました。

1年	最優秀賞	4組	優秀賞	5組
2年	最優秀賞	1組	優秀賞	3組
3年	最優秀賞	3組	優秀賞	2組

どの学級も、取り上げた記事に学級らしさやよさがたくさん表現されており、合唱や体育祭に通ずる団結力が発揮されていました。次回が楽しみです。

### ஸ்ரீஸ்தி சுவடீயீ : கன்நிசு

タイはフルーツ王国です。毎日、朝から晩までたくさん食べました。

ホテルの部屋の冷蔵庫には、ミネラルウォーターに加えてフルーツが入っていました。ノンタブリー県の名産マンゴスチンと皮の厚い巨峰のようなリュウガンが山盛りでした。マンゴスチンはマレーシアやシンガポールでもいただき、好物の一つです。マーケットではこんな風に山盛りで売られていました。

タイではなんととってもマンゴーが有名ですが、6～8月がシーズンらしく、滞在中は硬いマンゴーが多く出てきました。そして、フルーツの王様(女王とも)はドリアンです。強烈な匂いが私の食欲を奪ってしまいました。マレーシアでも遠慮していましたが、アヌラチャプラシッド校のカシナ校長先生が、直々に手渡してくれたものには手を付けられないわけにはいきません。引きつった笑顔でいただきました。いつか「アロイ(うまい)」と言える日が来るかも…。






とげとげの皮をむいた中身